



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局 淀川河川事務所	配布日時	平成30年1月12日 14時00分
資料配布		

件名	「淀川水系一斉美化アクション」参加者募集！ ～淀川の上流から下流までを住民の方と一緒にきれいにします～
----	---

概要	<p>○平成30年2月から3月までの期間に、淀川水系（淀川・桂川・宇治川・木津川）の上流から下流まで7エリアで連携した清掃活動を実施します。</p> <p>○淀川河川レンジャーが、これまで各地域で実施してきた清掃活動を「淀川水系一斉美化アクション」と位置づけ、沿川住民の方とともに、約5,000人規模で清掃活動を一斉に実施します。</p> <p>○淀川河川レンジャーは、住民参加による川の管理を目指し、淀川河川事務所や地元市町と連携して、環境保全や防災など様々な活動（別紙）を実施しています。</p> <p>【開催概要】</p> <ul style="list-style-type: none">●実施日：2月3日、3月11日、14日（宇治川）、 2月11日（木津川）、2月12日、18日、25日（淀川）、 3月24日（支川芥川）●実施場所：桂川・宇治川・木津川・淀川の各流域（7エリア）●その他：集合場所等の情報は、下記HPで確認してください。 http://www.river-ranger.jp
----	--

取り扱い	_____
------	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、 大阪府政記者クラブ、京都府政記者クラブ
------	--

問合せ先	近畿地方整備局 淀川河川事務所 総括保全対策官（管理課） <small>ふかざわ ようじ</small> 深澤 洋二 電話 072-843-2861（代表） 【当日の取材に関する問い合わせ先】 ・淀川管内河川レンジャー中央流域センター <small>せとぐち やすこ</small> 瀬戸口 泰子 電話 072-861-6801
------	---

平成30年
2～3月
実施

淀川水系一斉美化アクション

参加者大募集!

みんなの手で水辺をきれいにしよう。



	清掃エリア	実施日※		清掃エリア	実施日※
①	第11回桂川流域クリーン大作戦 拠点23ヶ所 (南丹市日吉・嵐山・島本など) 8:30 ~ 11:30	3/4 (日) 3/11 (日)	④	第13回淀川芥川クリーンアップ大作戦 拠点8ヶ所 (芥川・淀川本川高槻市域) 10:00 ~ 12:00	3/24 (土) (少雨決行雨天中止)
②	宇治川流域クリーン大作戦 拠点3ヶ所 (伏見区三栖など) 10:00 ~ 12:00	2/3 (土) 2/10 (土)	⑤	淀川京街道クリーン大作戦 拠点1ヶ所 (守口市庭窪) 9:30 ~ 11:30	2/12 (月・祝) (雨天中止)
	拠点1ヶ所 (塔の島) 8:50 ~ 10:30	3/11 (日) (雨天中止)		拠点4ヶ所 (枚方・寝屋川・守口など) 9:30 ~ 11:30	2/18 (日) 2/25 (日)
③	拠点1ヶ所 (三室戸) 10:00 ~ 11:30	3/14 (水) (雨天中止)	⑥	3区合同淀川右岸クリーン大作戦 拠点3ヶ所 (西淀川区・淀川区・東淀川区) 9:30 ~ 11:30	2/25 (日) (少雨決行雨天中止)
	木津川流域クリーン大作戦 拠点14ヶ所 (南山城・木津川・八幡など) 8:40 ~ 10:00	2/11 (日) 2/18 (日)	⑦	OSAKACITY淀川左岸クリーン作戦 拠点1カ所 (北区中津～福島区海老江) 10:00 ~ 12:00	2/18 (日) (雨天中止)

※実施日下段は雨天時

主催: 淀川水系一斉美化アクション連絡会
(淀川流域7エリア河川美化活動主催団体 国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所 淀川管内河川レンジャー)

後援: 関西広域連合、大阪府、大阪市、京都府、京都市、朝日新聞社、京都新聞社、産経新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社(50音順)(一部申請中)

問合せ: 淀川管内河川レンジャー事務局 中央流域センター TEL 072-861-6801 FAX 072-841-5663

最新情報は
コチラ



平成29年度 淀川水系一斉美化アクションの概要

1. 淀川水系一斉美化アクションとは

(1) 背景

淀川・桂川・宇治川・木津川は、地域の歴史・風土・文化を育み、都市域の貴重な自然として生物の生息の場となるとともに市民の憩いの場として利用されています。一方で、河川内には一部の利用者によるゴミの廃棄、散乱、不法投棄が見受けられ、河川管理・水辺利用・河川景観・公衆衛生の面から大きな課題となっています。

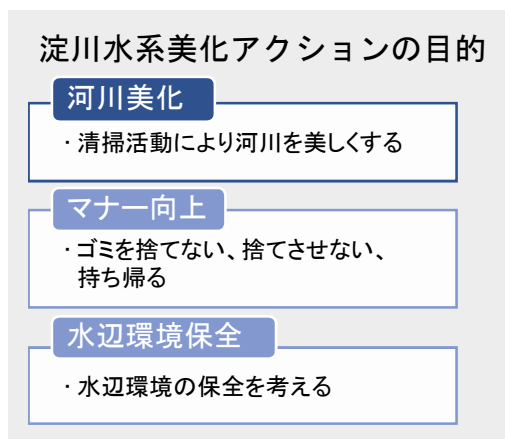
淀川管内河川レンジャーでは、このような課題に対して、「桂川流域クリーン大作戦」「大阪市3区合同清掃活動」をはじめとして、これまでも行政及び地域住民と連携した数多くの活動に取り組んできました。

(2) 淀川水系一斉美化アクションの目的

淀川水系（淀川・桂川・宇治川・木津川）の上流から下流まで河川レンジャーが住民とともに一斉に清掃することにより、河川美化、水辺環境保全に取り組みます。また、マナーアップの意識の共有を参加者に促し、ゴミを捨てない「ゴミの持ち帰り運動」へと発展させていきます。

この活動により、地域住民や来訪者が愛護する美しい淀川水系（淀川・桂川・宇治川・木津川）の定着を目指します。将来的には、宇治川上流の琵琶湖（滋賀県）や木津川上流（三重県）を含めた淀川水系全体が連携する清掃活動を目指しています。

また、大規模な河川美化活動としては日本国内有数の試みであることから、河川レンジャーの活動や存在をより多くの方々に伝えることを期待しています。



(3) 実施概要

①実施場所

淀川河川事務所管内を7つのエリアに分け、それぞれのエリアごとに淀川管内河川レンジャーが主体となって活動を行います。（図1参照）

②実施日

平成30年2月から3月の期間中にエリアごとに設定（表1参照）

③主催団体

「淀川水系一斉美化アクション連絡会」（事務局：淀川河川事務所）が「淀川水系一斉美化アクション」を主催します。連絡窓口は、淀川管内河川レンジャー事務局の中央流域センター及び上流域流域センターです。連絡会の構成団体は、淀川流域7エリア活動主催団体、淀川河川事務所、淀川管内河川レンジャーです。



図1 淀川水系一斉美化アクション実施場所

表1 平成29年度淀川水系一斉美化アクション実施日程一覧（雨天延期日含む）

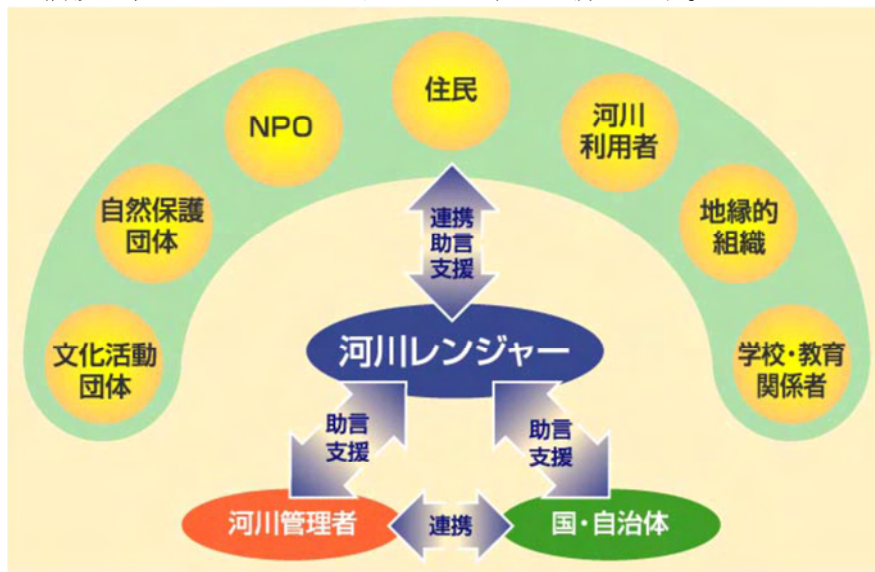
名称	実施日
①桂川流域クリーン大作戦	平成30年3月4日（日）
	平成30年3月11日（日）*雨天等延期日
②宇治川流域クリーン大作戦（伏見区三栖等）	平成30年2月3日（土）
	平成30年2月10日（土）*雨天等延期日
②宇治川流域クリーン大作戦 青少年によるクリーン宇治運動（宇治川塔の島地区）	平成30年3月11日（日）
②宇治川流域クリーン大作戦（三室戸）	平成30年3月14日（水）
③木津川流域クリーン大作戦	平成30年2月11日（日）
	平成30年2月18日（日）*雨天等延期日
④淀川芥川クリーンアップ大作戦	平成30年3月24日（土）
⑤淀川京街道クリーン大作戦（庭窪）	平成30年2月12日（月祝）
⑤淀川京街道クリーン大作戦（樟葉, 枚方, 点野, 八雲）	平成30年2月18日（日）
	平成30年2月25日（日）*雨天等延期日
⑥3区合同淀川右岸クリーン大作戦	平成30年2月25日（日）
⑦OSAKA CITY 淀川左岸クリーン作戦	平成30年2月18日（日）

2. 淀川管内河川レンジャーとは

河川レンジャーは、住民等と行政が連携・協働して、川を守り、育てるために平成15年度に誕生しました。

この河川レンジャーとは、川とのかかわりが深く、川に関するさまざまな取り組みの主導的な立場にあって、住民等と行政とを調整し、まとめることができる地域の情報や知識に詳しい人です。

河川レンジャーは河川管理者の代理人ではなく、自らの意志と責任のもとで、個性と特性を活かした活動を行います。また、地域共有の公共財産である川をよりよい環境にするという観点から、住民等と行政が日常的な信頼関係を築き、住民参加による川の管理を目指して、住民等と行政との橋渡し役となることが河川レンジャーの務めです。



現在、27名（平成29年12月時点）の河川レンジャーが、淀川管内で活動を実施しています。

河川レンジャーは、河川レンジャー、河川レンジャーアドバイザー（河川レンジャーのOB）、グループ河川レンジャー（河川レンジャーアドバイザーの指導のもと、大学生を中心とするグループで活動）、センター河川レンジャー（事務局）の4つで構成されています。

河川レンジャーは、年間に約250回活動を実施し、約25,000人が活動に参加しています。代表的な活動については、別紙で紹介しています。

（以下別紙活動事例）

- ・マイ防災マップの作成（桂川）
- ・京都伏見ジュニア河川レンジャーの取り組み（宇治川）
- ・木津川一斉水ウォッチング（木津川）
- ・地域の声を反映して安全で維持管理の容易な堤防へ（淀川）
- ・わがまち防災スクール（淀川）

このような活動を通じて、淀川水系に興味を持ち、淀川水系のことを調査し、行動したいと思う多くの淀川水系ファンを創出し、みなさんとともによりよい淀川の川づくりに取り組んでいます。淀川水系一斉美化アクションも河川レンジャー活動の一環です。

ホームページ <http://www.river-ranger.jp>

マイ防災マップの作製(桂川羽東師地区)

平成25年18号台風浸水地域の安全度向上へ
桂川右岸羽東師地区におけるマイ防災マップ作製(H27)



(写真:淀川川事務所HP)

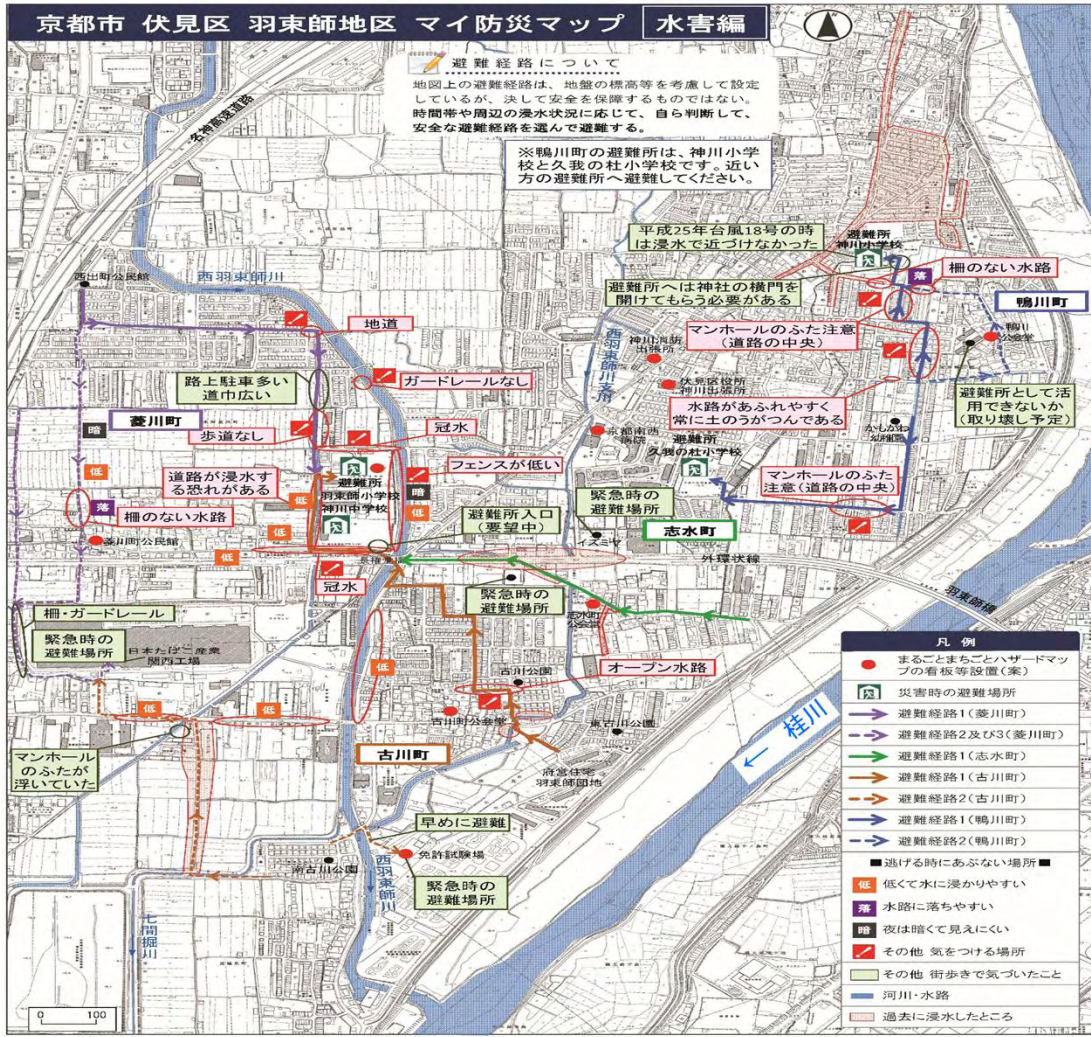
作製の経緯

- ①平成25年18号台風において浸水した京都市伏見区羽東師地区(桂川右岸)住民から、安全な避難路を確保したいという相談を受ける。
- ②河川レンジャーが河川管理者、自治体、地域住民をコーディネートし、羽東師地区の防災を考える学習会を開催。
- ③まち歩きを実施し、地域住民の浸水体験を活かした実践的なマイ防災マップを作製。

地域の防災を考える
勉強会を開催



まち歩きを実施し、
危険箇所を確認



- ①エリア毎の避難場所への避難ルート(想定案)をもとに歩き、浸水時の体験から、当時浸水した箇所、通行不能であった箇所を確認。
- ②浸水時に危険な箇所として、柵のない水路、マンホールの多い場所、夜間暗い場所、緊急時避難場所として期待できる場所等を地図に記入。

*自治会では、京都市の補助を受け、本マップを3,500部印刷し、羽東師地区に配付予定(平成29年12月)

～ 川が私たちの心の一部であることを体感！～

次世代の河川レンジャーを育てる

京都伏見ジュニア河川レンジャーの取り組み



平成15年度から、京都市伏見区において、宇治川及び宇治川派流(濠川)を活動エリアに、地域の小学生(3・4年生)を対象に、「体験学習による啓発」と「川の人材育成」目的とした活動を行っています。

この活動は小学校では総合学習として位置づけられ、年間4時間の学習時間を確保いただいています。伏見観光協会との連携により、十石船から川の観察を行っています。



活動①十石舟から川の観察



活動②川の生物観察と川の清掃



活動③伏見の歴史・川についての講義

この体験をきっかけとして、子どもたちは、自分たちが住んでいる地域と川を考え、伏見の歴史や川を大切にする「京都伏見ジュニア河川レンジャー」となります。子どもたちが作成した活動の感想文を保護者に確認いただき、コメントをもらって河川レンジャーにフィードバックする形で、保護者の方々にも川について考えていただいています。

ともあれ、河川という単一的な視点で「川を考えましょう！」と言っても、地域ニーズは低いのが現状です。教育や人材育成・郷土愛づくりという、顕在ニーズの高い部分を押し出し、入り口とすることで、小学校や保護者、地域のNPO団体と関係を築け、継続できていると考えます。

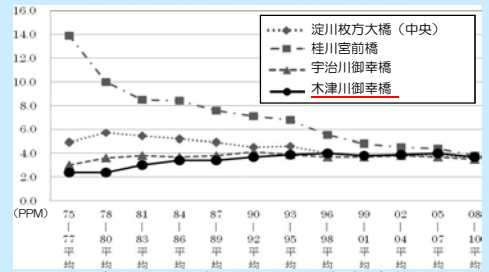
地づくりの活動であるので、河川レンジャー制度の目指す、最終目標への展開を今後考えていかななくてはならないのですが、長期戦ですので、この取り組みから次世代の河川レンジャーが誕生し、力を合わせられることを願っています。

平成29年度は伏見南浜小学校など、6校でジュニア河川レンジャーを育成中です！

木津川一斉水ウオッチング

経緯

- 高度経済成長期以降、木津川の水質が徐々に悪化(COD値の増加)しているという問題がありました。また、その事が原因で、川から住民を遠ざけました。
- 河川レンジャーが木津川の水質汚染の実態調査と改善を目的として、水質調査活動(木津川一斉水ウオッチング)を実施しました。(2011年から2017年まで毎年1回の実施)



淀川三川における水質の経年変化
(1975年～2010年におけるCOD値3年の平均値)

実施概要

- 調査は、多くの住民団体の協力を得て、河川レンジャーを中心に、採水作業・測定調査を実施しました。
- 調査地点は、各回で一部変更があるが、木津川の南山城村から御幸橋までの約20地点(第6回では、本川6地点・支川17地点)
- 本活動には、年間約30人が参加しました。(7年間で約200人)



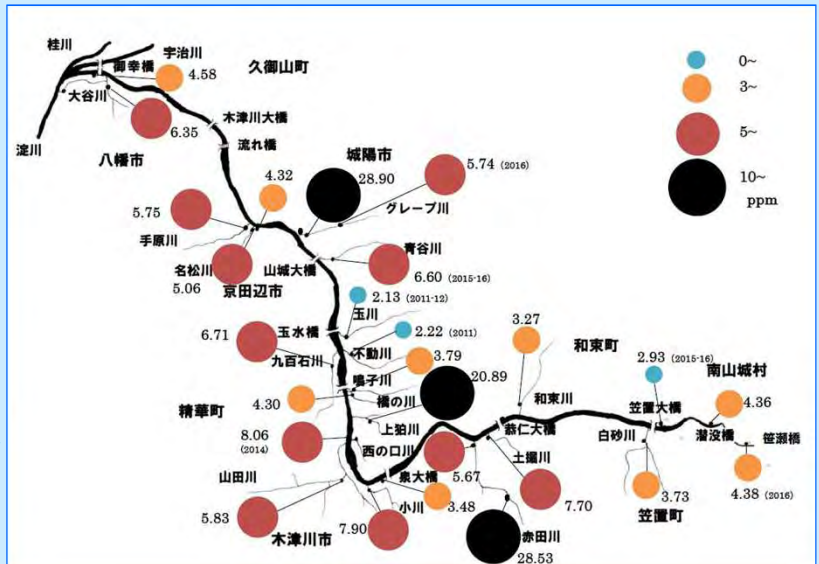
ユニメータによる水質調査

成果

河川レンジャーが企画した取り組みにより、以下のような成果が得られました。

- ① 水質基礎データの収集・蓄積・分析・とりまとめ**
 - 木津川流域の汚染の傾向を把握し、わかりやすい「汚染マップ」を作成した。
 - 今後も継続することで、より詳細な汚染原因の分析が可能となる。
- ② 住民団体等と連携して環境保全活動を活性化**
 - 水質調査を住民団体等と連携して実施し、調査結果を関係団体、自治体へ発信。また、結果のとりまとめを展示等で地域へも発信した。
- ③ 住民と行政を結ぶ橋渡し役**
 - 支流での水ウオッチングでは、水質調査の活動に環境保全(清掃やジャンボタニシ駆除)の活動を組み込んで実施したことにより、徐々に行政の参加者が見られるとともに、行政の支援(河床の浚渫・ジャンボタニシの駆除農薬の購入補助・清掃用具購入等)を受けた。

木津川の本川・支川を含めたCOD汚染マップを作成。



木津川の本川・支川のCOD汚染マップ(2014～2016年の平均値)

その後

- 平成29年度は、10月7日(土)に第7回木津川一斉水ウオッチングを開催し、継続的な調査とデータの蓄積を行っています。

地域の声を反映して安全で維持管理の容易な堤防へ

経緯

- 大塚地区の河川公園へアクセスする際に堤防道路を横断しますが、背丈の高い雑草により、見通しが悪く、安全性に問題がありました。
- その問題を解決するため、河川レンジャーが中心となり、「大塚地区公園整備計画課題検討WG※1」を設置しました。
- 本WGでは、「①堤防道路の交通量を減らすために“一方通行化”」「②草刈りの回数増加」といった議論がなされました。しかし、①一方通行化は、住民全体の総意とはならないことから断念しました。②草刈りの回数増加は、コストの観点から難しいという見解でした。

- そのような中、河川レンジャーが背丈の低い“イワダレソウ”が堤防植生として適しているとの情報入手し、地域住民と植え付ける取り組みを企画・実施しました。（平成29年3月5日実施）

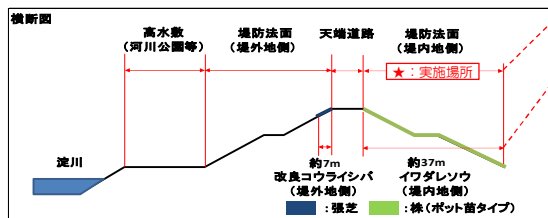


※1 大塚地区公園整備計画課題検討WGとは、地元住民代表、行政、河川レンジャーで構成。

- クマツヅラ科の多年草
- 地表を低く這うのが特徴
- 堤防維持管理の効率化

イベント当日

- 当日は、地元住民、河川レンジャー、高槻市長、淀川河川事務所長らも参加しました。



その後

- 地域住民・河川レンジャーが、イワダレソウの周辺の「雑草の抜き取り」「清掃活動」等を実施。
- 隔月で大塚地区公園整備計画課題検討WGを開催し、維持管理状況の共有と、よりよい利用に向けた課題検討を行っています。

わがまち防災スクール



10年以上（平成18年～）にわたり、地元淀川区の中学校を舞台に「防災スクール」を定例的に継続開催し、次世代の防災リーダー育成に大きく貢献しています。

- ・自治会や学校、行政等多くの関係者を巻き込んで活動を進化。
- ・様々なツールを活用、さらに独自のアイデアを付加して様々な飽きさせない工夫。

防災スクールプログラムの例

①防災ミニ体育大会で防災体験

- ・国土交通省の移動体験施設（水没ドア、水中歩行）を活用して興味深く。
- ・車椅子やアイマスク、簡易担架を使った貴重な救助体験。
- ・水防活動で行われる「土のう」作りを対抗リレー形式で楽しく体験。

②大学生のグループ河川レンジャーが企画・運営に参画

- ・お兄ちゃん、お姉ちゃん世代の参加でより身近な活動に。

③災害脱出ゲームやマップづくり

- ・能動的に楽しみながら学ぶ。



水中歩行体験
水没ドア体験



車椅子救助体験など



土のう体験



防災マップづくり

平成29年度の防災スクール開校状況は以下の通りです。

宮原中学校 9月2日（土）座学

新北野中学校 9月8日（金）座学 9月9日（土）体験学習

十三中学校 11月2日（木）座学 11月11日（土）体験学習